

- 根本由香「明治中期の生活文化と名人たち—鏗木清方『明治風俗十二ヶ月』の「盆燈籠」をよむ」
 (服飾美学会『服飾美学』31) 2000年9月 33~48
- 池内紀「鏡花と清方(特集 泉鏡花)—(ラビリントス)」(『ユリイカ』32巻13号) 2000年10月 70~72
- 八柳さえ「鏗木清方と金沢と游心庵」(『有鄰』第397号) 平成12年12月10日 4
- 加藤類子「近代日本画に描かれた花9」(『華道』 2001年12月号)
- 「座談会 福富太郎—私の絵画コレクション」(『有鄰』第416号) 平成14年7月10日 2~4
- 松崎安延「名画にみるきものと髪型」(『さらさ』5・6月号)美容の友社 2004年4月10日 32~35
- 杲由美「清方ゑがく「薄紅梅」—〈泉さん〉の物語 (特集 泉鏡花 様々なる越境)」
 (『文学』5巻4号) 2004年7・8月 14~26
- 立川昭三「癒しの美術館23 鏗木清方『曲亭馬琴』端然として向き合う」
 (『Vita』Vol.21No.3) 2004年7月 64
- 城戸崎雅崇「粹な美人とはどんな顔？」(『日本顔学会誌』第4巻第1号) 平成16年9月25日 19~24
- 紅野敏郎「逍遙・文学誌(161)「新女苑」(昭和16年)—井伏・稲子・草平・林原耕三・鏗木清方・神崎清・里見ら」
 (『國文學 解釈と教材の研究』49巻12号)學燈社 2004年11月 172~175
- 佐藤節子・増井真理子「鏗木清方の〈妖魚〉について」
 (『東京家政学院大学紀要 人文・社会科学系』45) 2005年 87~101
- 須田勝仁「近現代絵画作品の真贋と鑑賞—個人所有作品から」
 (『大谷女子大学短期大学部紀要』49) 2005年 14~40
- 高井有一「夢か現か(26)鎌倉に清方住めり」(『筑摩書房』414) 2005年9月 24~27
- 角田拓朗「鏗木清方の造形と文学」(明治美術学会「近代画説」15号)125~127 2006年
- 角田拓朗「美人画から風俗画へ—鏗木清方の官展再生論(特集 日本近代美術と「官展」)」
 (明治美術学会「近代画説」16号) 2007年 48~61
- 篠原聰「『やまと新聞』と鏗木清方 明治期新聞小説挿絵の一断面」
 (『成城美学美術史』第13号) 2007年3月

◇単行本

- 巖谷季雄編集『鶯王子』(『世界お伽噺』第54編)博文館 明治37年2月
- 中島孤島『こども芝居』彩雲閣 明治40年5月
- 巖谷季雄編集「善玉悪玉」(『世界お伽文庫』第4編)博文館 明治41年7月
- 熊谷為蝶編集『名家演芸ひかへ帳』東雲堂書店 明治43年7月
- 鏗木清方「新浮世絵講義」(日本美術学院編『新日本画分科講話』)日本美術学院 大正4年
- 鏗木清方「明治の挿画」(『日本文学講座』第8巻)新潮社 昭和2年7月
- 「歴史風俗講義・新浮世絵講義」(『日本画講義 吉川靈華・鏗木清方』)日本美術院 昭和5年頃
- 『日本文学講座』第11巻 新潮社 昭和7年
- 鏗木清方『銀砂子』岡倉書房 昭和9年
- 鏗木清方『築地川』書物展望社 昭和9年10月

豊田豊『演劇醉談』学而書院 昭和11年2月
 鑑木清方『褪春記』双雅房 昭和12年
 鑑木清方『御濠端』双雅房 昭和13年
 鑑木清方『蘆の芽』相模書房 昭和13年6月
 鑑木清方『風俗画技法』崇文堂 昭和16年
 鑑木清方『こしかたの記』双雅房 昭和16年
 鑑木清方『四季しのぶ草』双雅房 昭和16年
 双雅房編集『新装 きもの随筆』双雅房 昭和16年6月
 鑑木清方『清方随筆選集』第1巻 双雅房 昭和17年12月
 鑑木清方『清方随筆選集』第2巻 双雅房 昭和17年12月
 鑑木清方『絵具篋』双雅房 昭和18年
 鑑木清方『東なまり』双雅房 昭和18年
 鑑木清方『道中硯』双雅房 昭和18年
 鑑木清方『柳小紋』畝傍書房 昭和18年
 鑑木清方『連翹』芸艸堂出版部 昭和18年7月
 山崎斌編集『月明先人集』草木屋出版部 昭和19年
 鑑木清方『清方随筆選集』双雅房 昭和19年9月
 鑑木清方『靴の音』(『天皇陛下』)文芸春秋新社 昭和24年
 座右宝刊行会編集『現代日本美術全集』第5巻 角川書店 昭和30年10月
 谷崎潤一郎『幼少時代』中央公論社 昭和34年
 鑑木清方『こしかたの記』中央公論美術出版 昭和36年3月
 鑑木清方『こしかたの記』中央公論美術出版 昭和36年5月
 鑑木清方『東京 築地川』(『東京と大阪』帙入2冊)毎日新聞社 昭和37年
 鑑木清方・菅楯彦画集『東京と大阪』毎日新聞社 昭和37年6月
 川端康成編集『日本随筆・随想集』(『世界教養全集』別巻1)平凡社 昭和37年11月
 白井吉見・河盛好蔵編集『生活の中の美』(『生活の本』10)文芸春秋 昭和38年8月
 鑑木清方『続こしかたの記』中央公論美術出版 昭和42年9月
 藤本韶三・藤本四八『画室訪問』三彩社 昭和44年
 鑑木清方『やまと新聞と芳年』(『血の晚餐 大蘇芳年の芸術別冊』)番町書房 昭和46年3月
 宝文館出版編集『京都風土記』宝文館出版 1973年
 『本朝画人伝 新輯』巻5 村松梢風 中央公論社 1973年
 川端康成編集『日本随筆・随想集』(『世界教養全集』35)平凡社 1974年
 鑑木清方『こしかたの記』中央公論社(文庫) 1977年
 鑑木清方『紫陽花舎随筆』六興出版 1978年1月
 『鑑木清方文集 月報』1-8 白鳳社 昭和54年2月～55年9月
 山田肇編集『鑑木清方文集 名所古跡』5 白鳳社 昭和54年2月
 山田肇編集『鑑木清方文集 春夏秋冬』4 白鳳社 昭和54年3月
 山田肇編集『鑑木清方文集 先人後人』3 白鳳社 昭和54年5月

山田肇編集『鏑木清方文集 制作余談』1 白鳳社 昭和54年8月
山田肇編集『鏑木清方文集 明治追懷』2 白鳳社 昭和54年11月
山田肇編集『鏑木清方文集 時粧風俗』6 白鳳社 昭和55年2月
山田肇編集『鏑木清方文集 画壇時事』7 白鳳社 昭和55年6月
山田肇編集『鏑木清方文集 隨時隨感』8 白鳳社 昭和55年9月
鈴木進他『近代美術の開拓者たち わたしの愛する画家・彫刻家』3 有斐閣 1981年8月
山田肇編集『鏑木清方随筆集 東京の四季』岩波書店 1987年8月
鏑木清方「こおろぎ」(安野光雅他編集『動物たちの物語』)筑摩書房 1989年1月
鏑木清方『明治の東京』岩波書店(文庫) 1989年4月
山根有三先生古稀記念会編集『日本絵画史の研究』吉川弘文館 1989年10月
塩川京子『市井の文人 鏑木清方』大日本絵画 1991年7月
大塚雄三編集『鏑木清方 明治のおもかげ』学習研究社 1994年4月
作品社編集集部編集『わが町わが村 東日本』作品社 1998年4月
八柳サエ『鏑木清方と金沢八景』(『横浜美術館叢書』6)有隣堂 2000年12月
大塚雄三編集『鏑木清方 明治のおもかげ』(復刻版)学習研究社 2004年10月

◇展覧会図録

『清方深水名作集』大阪読売新聞社企画部 昭和32年
『鏑木清方自選展図録』(朝日新聞社／銀座松屋) 昭和37年5月
『鏑木清方展』(朝日新聞社／横浜高島屋) 昭和40年
『鏑木清方今様絵詞の会』(日本橋高島屋) 昭和44年
『鏑木清方展 毎日新聞創刊百年記念』(毎日新聞社／銀座松屋) 昭和46年10月
『回想の清方 その一』サントリー美術館 昭和48年
『回想の清方 その二』サントリー美術館 昭和49年
『回想の清方 その三』サントリー美術館 昭和50年
『鏑木清方生誕百年記念展』(京都新聞社／京都市美術館) 昭和52年
『鏑木清方展』(朝日新聞社／新宿小田急) 昭和57年
「日本画の前衛たち 今村紫紅・速水御舟・松岡映丘・鏑木清方」(『東京都美術館特別展図録』第17号)東京都美術館 1986年10月
『鏑木清方展』横浜美術館 平成2年1月
『鏑木清方展』京都新聞社 1993年4月
『鏑木清方展』(東京国立近代美術館・読売新聞社文化事業部) 1999年3月
『上村松園・鏑木清方展』富山県水墨美術館 2002年10月
『鏡花本装丁美の世界 4人の画人 鱒崎英朋・鏑木清方・橋口五葉・小村雪岱』泉鏡花記念館 2006年3月